



ありがとうございました。(地域からの協力)

3年生は、社会科で消防設備の役割を考えたり、分布の調査をしたりする学習があります。まずは学校ではどんな設備があるかを調べます。校内を歩き回り、一つ一つ設備の位置や種類を確認し、その役割についても考えました。学校の中には、消火器や消火栓、防火扉、火災報知器など、生活をする上で安全を第一に考えた消防設備があることがわかります。普段、子どもたちは、あまり気にはしてはいなかったけれど、多くのことに気付くことができました。

次に、自分たちの住む地域ではどうなっているか考え、地域の調査に広がっていきます。それを受けて、11月16日に3年生の町探検がありました。学校周辺を歩き回って、消防設備がどこにどのくらいあるのかを調べました。子どもたちは、歩いていると、赤い消火ホースの格納庫を見つけては、道路に埋まっている消火栓はどこにあるか探していました。いくつか見ていく内に、探し方もうまくなり、子どもたち同士で教え合うようになりました。

また、この日は、長塚の自治会長の中込さんに協力をお願いし、長塚の消防団の詰め所を見せていただくことができました。その際、中込さんから市役所の防災危機管理課の榎本さんへ依頼をしていただいたことで、榎本さんより消防団について話を聞くこともできました。消防署は見学しても、自分たちの住んでいる地域の消防団について知る機会はありません。子どもたちにとって、とても良い見学ができたと思います。

普段、子どもたちは、どうなっているか気になっていても、実際確かめることが難しいことがあります。しかし、今回のように、学校から相談した時に、一緒に考えてくださったり、御協力いただけた地域の方のおかげで、自分たちだけではどうにもならないことも実現することもあります。本当にありがたいことです。

来年度からは、本校をはじめ、甲斐市の小中学校全校がコミュニティスクールになっていきますが、今回のことは、今後の見通しがもてる活動になったことも大変嬉しかったです。

※コミュニティスクールとは、学校運営協議会を設置して、保護者や地域住民が学校運営に参画できるようにする学校のことです。学校運営協議会では、学校の方針や課題、教育活動などについて話し合い、学校と地域が一体となって子どもたちを育てていくことを目指すようになります。



小中学校連携事業～菊池省三先生をお迎えして～

11月13日に敷島中学校の3年生と菊池省三先生をお迎えして、小中連携事業の授業が行われました。中学3年生が、本校の6年生に3年間の中学校生活やそこで得たことについて、スライドを使いながら説明してくれました。それについて訊きたいことを小グループで出し合いました。中学生のお姉さん・お兄さんは、6年生が話し合いやすいよう、一人一人に声をかけながら進んでいきました。6年生は、中学とはどんなところで、どんな先輩がいるのか雰囲気をつかむことができました。

その後、菊池省三先生にバトンタッチし、菊池先生は、中学校進学で気になっていることを、6年生からさらに引き出していきました。それに対して、中学生が応え、今感じていることを中心に話してくれました。この授業を受けたことによって、もしかしたら6年生は、「先輩は怖いのではないか？」とか「先生は厳しいのではないか？」と考えていた不安も、小さくなったかもしれません。

※菊池省三先生は、小学校教師として「ほめ言葉のシャワー」など、現代の学校現場に即した独自の実践によりコミュニケーション力あふれる教育をめざしてきました。NHKの人気番組【プロフェッショナル 仕事の流儀】で取り上げられ、それをきっかけに全国で講演が増えていきました。テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ」、日本テレビ「NEWS ZERO」「世界一受けたい授業」などにも出演し、大きな反響を得ている先生です。



中学生が声をかけてきている

菊池先生と6年生

紹介してくれた中学3年生

生活科「もっと なかよし まちたんけん」(2年生)

2年生は生活科の学習で、自分たちの住んでいる町はどんな町なのか調べることにしました。今回は、敷島地区のお店のことを調べ、仕事の内容、使っている道具、仕事の様子など見せてもらいました。

事前に、子どもたちは、自分が行ってみたいお店について選び、同じお店を選んだ者同士でグループになって調べ学習を行いました。今まではお店の外から見ているだけで、実際にどんな仕事をしているかはよくわかっていませんでした。しかし、今回の探検で、実際の仕事内容や仕事の様子を見ることで、外から見ているだけではわからないことを知ることができました。本物に出会い、見て、触って、体験することの大切さはここにあると思います。

今回、町探検を行う上で、地域のお店の方々には、お忙しい中、子どもたちのために時間を割いていただき感謝申し上げます。また、多くの保護者の方にも、子どもたちの安全のために、付き添いお手伝いをいただき大変助かりました。これからも、保護者や地域の方々には、子どもたちの成長ため、ご理解・御協力いただけるようお願いいたします。

